

学生目線の「おもろい」授業とは

対面・遠隔授業の効果的な共存を考える
～DPを達成するためのよりよい授業形態～

【D班】 横山 明香 (教職支援チーム)
佐藤 詩織 (ミューズキャンパス事務G)
上戸 智史 (情報推進G)
辻 秀平 (文学研究科・博士後期課程)

「おもしろい」＝「Interesting」

- 知的好奇心が刺激され、
自発的・主体的な〈学び〉の姿勢が涵養された状態。
- 小学校～高等学校といった初等・中等教育の現場における
「**主体的・対話的で深い学び**」にも通じる状態。
- ①「**知識・技能**」 ②「**思考力・判断力・表現力**」 ③「**主体的に学習に取り組む態度**」
上記の3要素が達成される学び。

(c.f.) 文部科学省『中学校学習指導要領解説総則編（平成29年告示）』

教学IRによる授業アンケートの結果①

2022年度春学期の授業・学生生活に関するアンケート

【授業を通じた学力の3要素の獲得実感】

「ある程度身についた」「身についた」と回答した学生

	要素1		要素2			要素3		
	知識	技能	思考力	判断力	表現力	主体性	多様性	協働性
対面	87.8%	81.9%	84.1%	78.4%	74.1%	72.7%	75.1%	77.3%
遠隔	87.5%	74.6%	84.6%	77.2%	72.2%	64.9%	67.6%	47.6%

対面・遠隔において、要素1・2などの習得については大差がない。

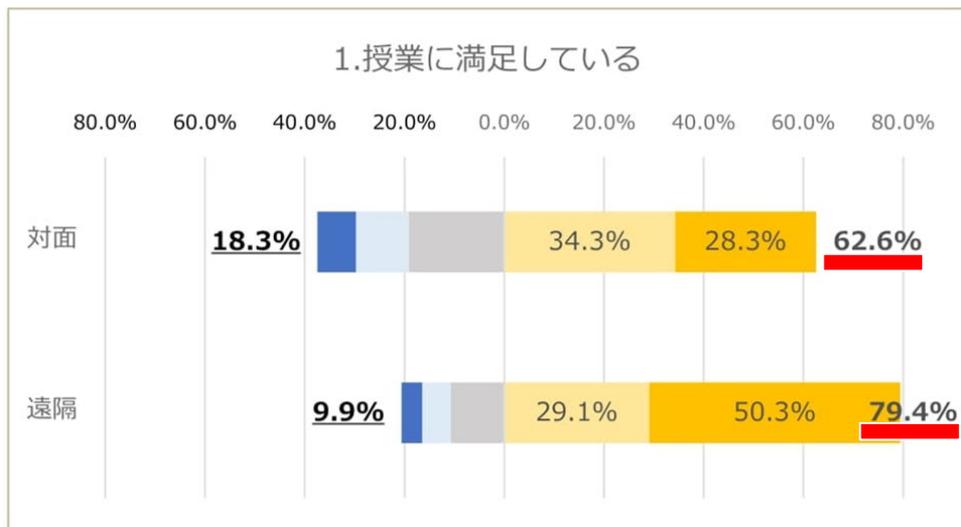
しかし、主体性などの要素3においては対面授業の方が効果的に身に付く傾向にある。

教学IRによる授業アンケートの結果②

2022年度春学期の授業・学生生活に関するアンケート

【授業の満足度について】

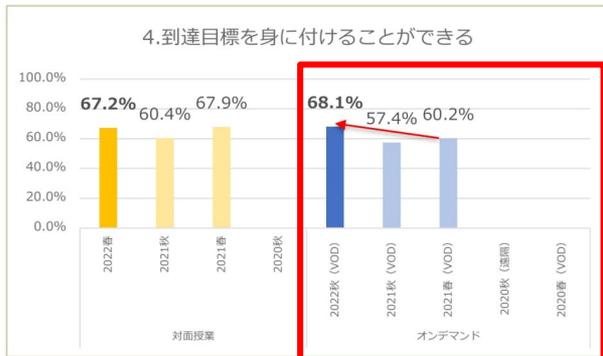
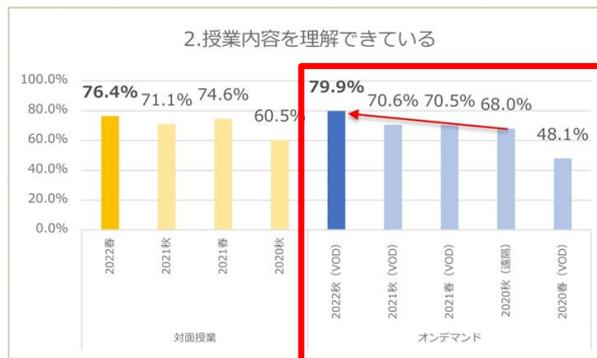
対面が「62.6%」であるのに対して、遠隔は「79.4%」



**学生は遠隔授業の方が
満足度が高い！**

教学IRによる授業アンケートの結果③

2022年度春学期の授業・学生生活に関するアンケート



次の3点について、過去の調査より向上している

- ・ 授業への満足度 (61.7%→**79.4%**)
- ・ 授業内容の理解 (68.0%→**79.9%**)
- ・ 到達目標の獲得実感 (60.2%→**68.1%**)

➡ **遠隔 (オンデマンド) 授業の質の向上**

対面授業のメリット

①授業内で仲間ができ、対話しながら授業に取り組むことができる

→遠隔授業では人間関係の構築が難しく、グループワークがスムーズでなかったり、
悩みを抱え込んでしまう。

②学習のための適切な「場」が用意されている

→遠隔授業では、授業を受けやすい静かな環境を探す必要がある。

また、集中することも難しい。



遠隔(オンデマンド)授業のメリット

①時間や場所を選ばず、効率的なので、課外活動にも時間を使いやすい

→通学に時間をかける必要がなくなり、好きな時間に受けられる。

また、何度も視聴することができ、知識の定着につながる。

②質のよい教育が幅広い人に届く

→本来なら定員の関係で受けられなかった、

人気の授業も受けられる。



提言

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
遠隔	遠隔	対面												

15回の授業の内、対面授業は5回（3回に1回）

講義形式の遠隔（オンデマンド）授業で予習を行い、知識や技能を習得（インプット）した上でグループワーク形式の対面授業で主体性や協働性を発揮（アウトプット）する。

15回の授業の中で、インプットとアウトプットのどちらも行うことにより、

より効果的に学習内容が定着すると考えられる。

提言

主に遠隔（オンデマンド）授業のため、講義は**いつでもどこでも何度でも**受講でき、学生の満足度は高いものであると考えられる。

また、対面授業で得られやすい「**主体性**」「**多様性**」「**協働性**」についても5度の対面授業（グループワーク）により得ることができると考えられる。

「対面授業」と「遠隔（オンデマンド）授業」の**両方のメリットを得ることができる授業形態**である。

これが学生にとっての「**おもしろい授業**」であるとする。



引用文献

- ・ 関西大学. 「2022年度春学期の授業・学生生活に関する学生アンケート」の集計結果について.
教学IRプロジェクト.2022-11-11
www.kansai-u.ac.jp/ir/archives/2022/11/2022.html
- ・ 文部科学省 中学校学習指導要領解説総則編（平成29年告示）
https://www.mext.go.jp/content/220221-mxt_kyoiku02-100002180_003.pdf